

感染症 ひとくち情報

ノロウイルス等の感染性胃腸炎の流行状況



2013年1月11日
東京都健康安全研究センター

1 感染性胃腸炎の流行状況（1月6日まで）

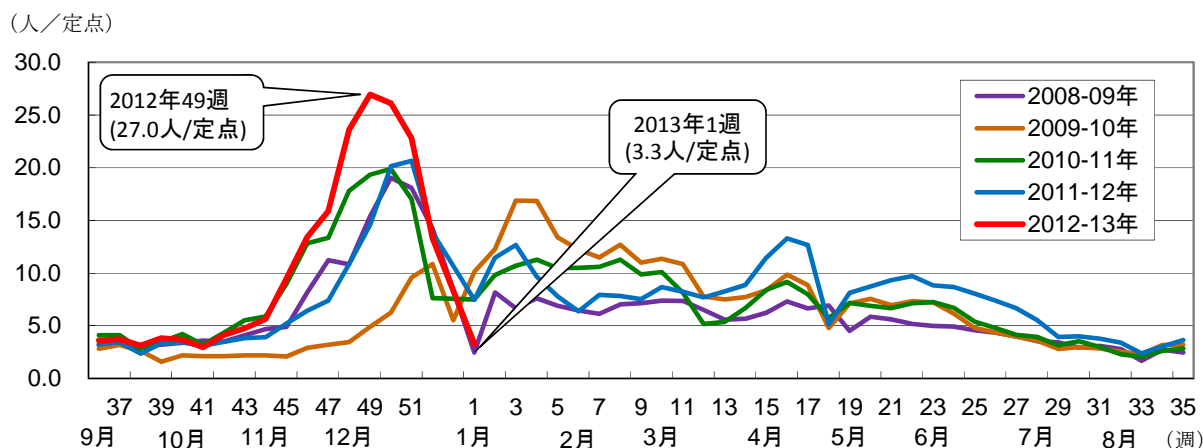
感染性胃腸炎の都内の患者報告数が第48週（11月26日～12月2日）で、**流行警報基準***を超えて以降、第49週（12月3日～9日）をピークに4週続けて減少しています。

例年、この時期は感染性胃腸炎の発生が最も多くなる時期です。一人ひとりが手洗い等を徹底し、感染予防に努めましょう。高齢者や乳幼児の施設においては十分な感染防止対策をとりましょう。

* 流行警報基準：感染症発生動向調査による定点報告において、20人/定点（週）を超えた全ての保健所の管内人口の合計が、東京都の人口全体の30%を超えた場合、12人/定点未満になるまで警報レベルが継続します。

都内222か所の小児科定点医療機関**からの報告では、2013年第1週（12月31日～1月6日）の患者報告数は定点あたり3.3人です。流行警報終息基準を下回りましたが年末年始の医療機関休診等による影響も考えられるため、2週以降の推移を見守る必要があります。

** 定点医療機関：感染症の発生状況を知るために定期的に患者数を報告していただいている医療機関（都内264か所）を定点といいます。定点あたり患者報告数とは1週間に1か所の定点からどのくらいの報告があったかを表す数値です。



2 予防のポイント

- ◆ 最も大切なのは手洗いをきちんと行うことです。特に排便後、調理や食事の前には、その都度、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。
- ◆ 便や吐物进行处理する時は、使い捨ての手袋、マスク、エプロンを着用し、処理後は、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。
- ◆ カキなどの二枚貝を調理するときは、中心部まで十分に加熱しましょう。（中心温度85℃で1分以上の加熱が必要です）

* 東京都感染症情報センターの「感染性胃腸炎の流行状況」のページもご参照ください。
<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/diseases/gastro/>